





新 潮

にい しお

校訓

郷土を愛し
明るく素直で
たくましく

文責：校長 川内康範

九州合唱コンクール銀賞！

19名の美しいハーモニー

17日(日)とぎつカナリーホールにて、九州合唱コンクール長崎県予選が行われました。平成元年から続いている大島中の全校合唱団は今年も、全校生徒で参加することができました。

5月2日に最初の唱総の時間 合唱開きがあり、そこからのスタートでした。とはいっても、その間、ふれあい運動会、市中総体ソフトテニス競技大会・陸上競技大会などの大きな行事が続く中、途切れ途切れの練習しかできていません。その分生徒たちは、家で練習したり、昼休みに練習をしたりして自分のパートを覚えていました。全体練習の中では、発声練習に加え、歌詞の意味を理解し、どう表現するか、など専門的な勉強もしました。門外漢の私にとっては、「合唱の練習はこんなことをするんだ」と驚きを覚えることばかりです。私には頑張っ歌っているなあと感じられ、山口先生からは細かいチェックが入ります。たとえば、素人がレントゲン写真を見ても何もわからないのに、医師などわかる人が見れば異状がすぐわかるのと同じで、山口先生には「どこが違うのか、何がまだ足りないのか」明確に感じ取れるんだらうなあと思いました。時には、同じ箇所を何回も何回もやり直しをさせられます。まるで運動部の練習を思わせるような厳しい指導もありました。しかし、生徒たちは指導に素直に応え、汗だくになりながら一生懸命に練習に励んでいました。合唱の練習を通して生徒どうしのつながりも生まれますが、教師とのつながりも生まれてい

るなあと強く感じました。こうして生徒たちは限られた時間を集中して練習に取り組み、美しい合唱ができあがっていきました。15日(金)の「合唱披露会」には小学生も聴きにきてくれました。保護者の皆様、民生児童委員の皆様、小学校の先生方なども来ていただき本当にありがとうございました。みなさんから「よかったですよ」とお褒めの言葉をいただき、私もうれしくなりました。

そして、いよいよ本番です。会場は本格的なコンサートホールです。こんな立派なステージに立つという経験ができるだけでも、生徒たちは恵まれていると思います。緊張もしたでしょうが、生徒たちは落ち着いて、のびのびと歌い、美しいハーモニーをホールいっぱいに響かせていました。「披露会」の歌声も最高でしたが、本番の歌声はさらにすばらしいできばえでした。会場には、以前小・中学校に勤められていた先生方も応援に来ていただきました。ここでも生徒たちのつながりの深さを感じました。

生徒の皆さん、お疲れ様でした。そして、おめでとございます！

